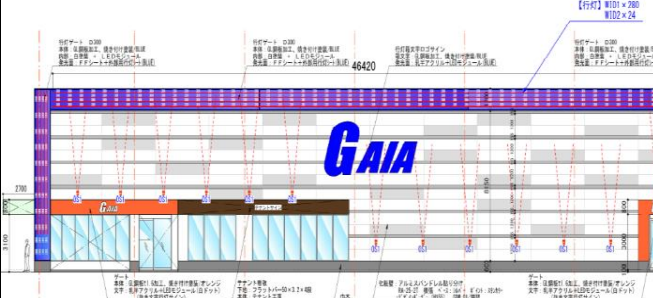
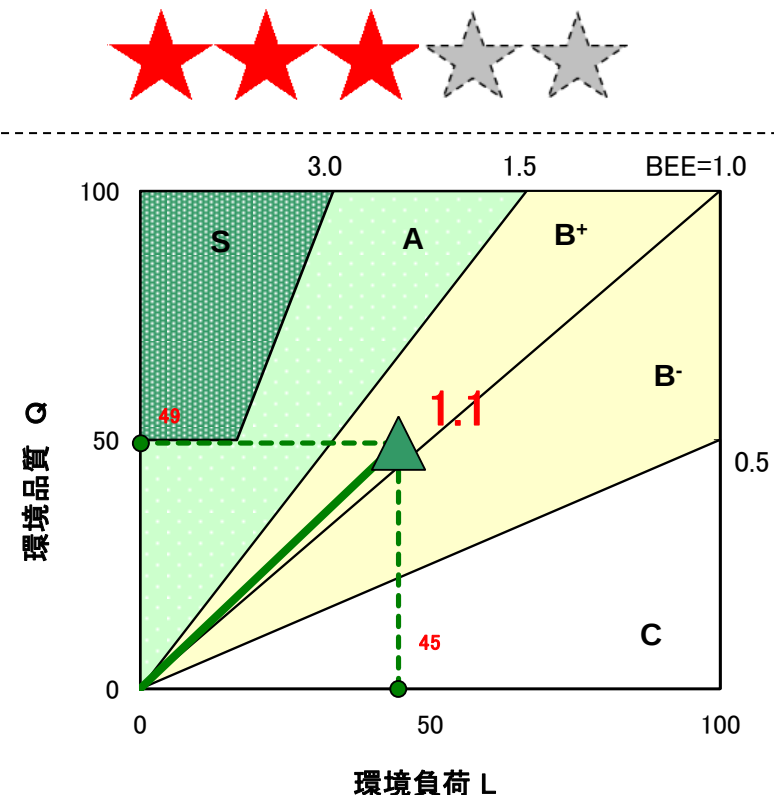


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)ガイア熊本店	階数	地上 2F		
建設地	熊本県熊本市中央区本山町字原萩	構造	S造		
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	0 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年		
建物用途	物販店,飲食店,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2016年6月2日		
敷地面積	15,052 m ²	作成者	山崎 浩史		
建築面積	3,901 m ²	確認日	2016年6月3日		
延床面積	4,220 m ²	確認者	山崎 浩史		

1 CASBEE評価結果

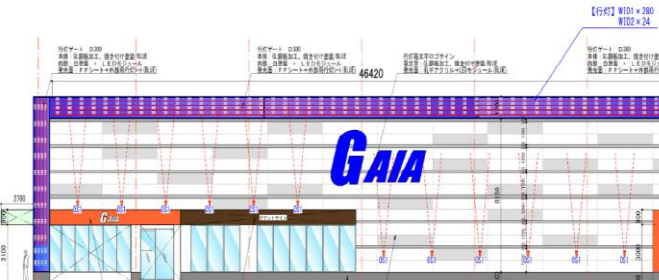
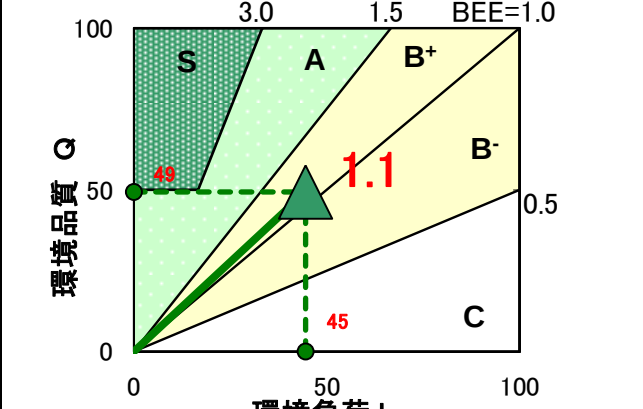
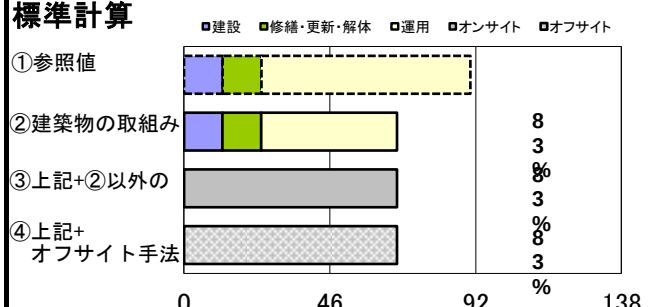
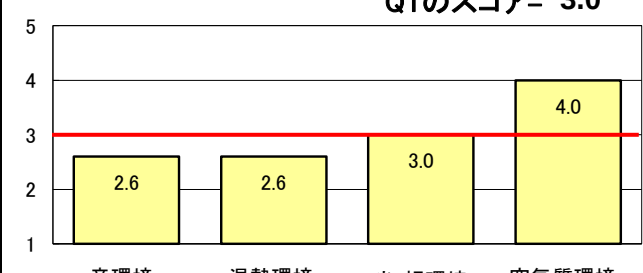
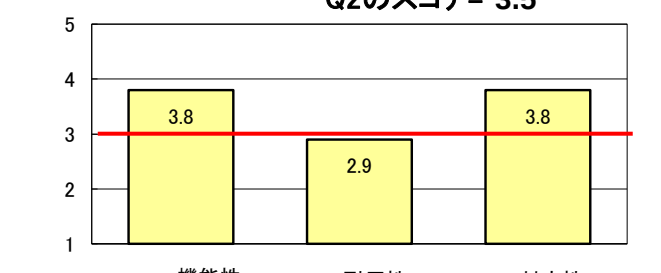
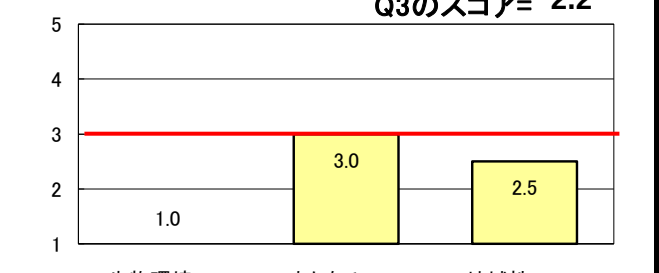
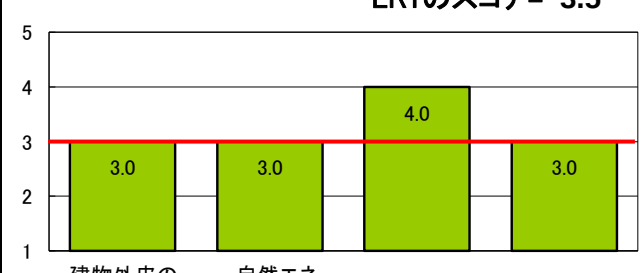
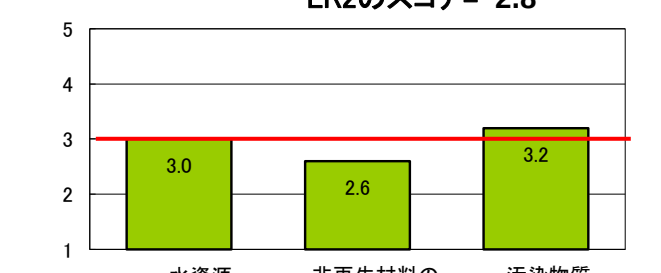
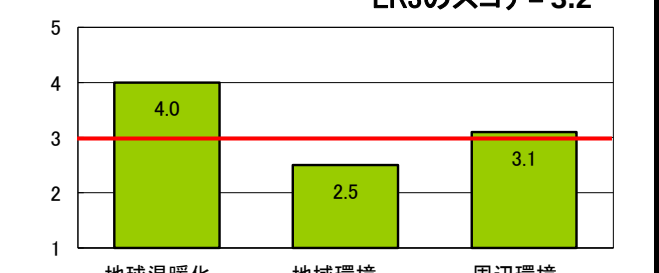
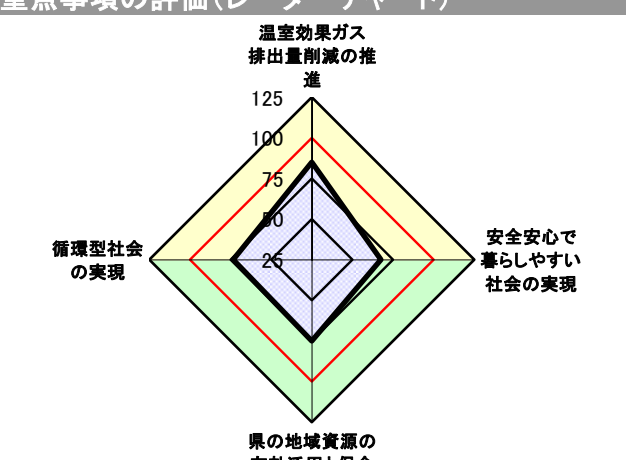
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		BEE = 1.1		■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																	
★★★★★																																					
		■環境効率評価基準																																			
		<table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>				ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																		
			BEE値	Q値																																	
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																	
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																	
B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																	
B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																	
C	★	劣る	0.5未満	—																																	
		■ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																																			
		<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>				判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値(排出率)	ランク表示																																				
30%以下	☆☆☆☆☆																																				
30%超60%以下	☆☆☆☆																																				
60%超80%以下	☆☆☆																																				
80%超100%以下	☆☆																																				
100%超	☆																																				
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率																																			
☆☆☆☆☆		74%																																			

2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価		評価点												
		77												
		■熊本県重点評価基準												
	評価点	<table><tr><th>判定値(評価点)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>100点以上</td><td></td></tr><tr><td>80点以上100点未満</td><td></td></tr><tr><td>60点以上80点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点以上60点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点未満</td><td></td></tr></table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	85.0													
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	67.5													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0													
【重点事項4】 循環型社会の実現	73.5													
※評価点は、100点以上が推奨です。														

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ガイア熊本店		
建設地	熊本県熊本市中央区本山町字原萩1		
用途地域	準工業地域、準防火地域		
気候区分	6地域		
建物用途	物販店,飲食店,集会所,		
竣工年	2016年11月 予定		
敷地面積	15,052 m ²		
建築面積	3,901 m ²		
延床面積	4,220 m ²		
階数	地上 2F		
構造	S造		
平均居住人員	0 人		
年間使用時間	4,380 時間/年		
評価の段階	実施設計段階評価		
評価の実施日	2016年6月2日		
作成者	山崎 浩史		
確認日	2016年6月3日		
確認者	山崎 浩史		
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆ S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★			
			
		このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	
2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質 Q のスコア = 2.9			
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0			
			
Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5			
			
Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2			
			
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2			
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5			
			
LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8			
			
LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2			
			
3 熊本県重点評価結果			
重点事項総合評価		重点事項の評価(レーダーチャート)	
 評価点 = 77			
重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 85.0		重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 67.5	
			
重点事項3: 県域資源の有効活用と保全 評価点 = 75.0		重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 73.5	
			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)ガイア熊本店			■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40	-	-	3.0
1 音環境		2.6	0.23	-	-	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 2 開口部遮音性能		3.0	0.99	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.01	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.43	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.50	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.02	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.70	-	-	
1 昼光率		3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		3.0	-	3.0	-	
3.3 照度		3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.30	3.0	-	
4 空気質環境		4.0	0.33	-	-	4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の積極的な採用	5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.8	0.40	-	-	3.8
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	執務スペース 79.20/3人=26.4㎡/人	5.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリーチェックリストを概ね満たす	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.9	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.02	3.0	-	
2 リフレッシュスペース	休憩室/事務所=43.0/79.2=54%	4.0	0.01	-	-	
3 内装計画	空間コンセプトが明確になっている	4.0	0.96	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	仕上材を傷めないで維持管理が可能	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.8	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	3 対応性・更新性			3.8	0.30	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	軒高さ: 5.45m	5.0	0.30	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 249.12+0.00/3620.26＝0.068	5.0	0.04	3.0	-	
				5.0	0.96	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	天井懐が高く、スペースが確保されている	4.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	構造部材を傷めないで更新が可能	4.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	構造部材を傷めないで更新が可能	4.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			—	0.30	-	-	2.2
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
	2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			—	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	3.5	
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.65 住宅(専有部)		4.0	0.50	-	-	4.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)	高効率空調の採用		4.0	1.00	-	-		
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-		
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価			-	-	-	-		
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-		
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	2.8	
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1 節水			3.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6	
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	—		3.0	0.22	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—		1.0	0.22	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能		4.0	0.22	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-		
1	消火剤	屋内消火栓設備の採用	4.0	0.33	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-		
3	冷媒		3.0	0.33	-	-		
LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	3.2	
1 地球温暖化への配慮	省エネルギー設備の導入		4.0	0.33	-	-	4.0	
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-		
3	交通負荷抑制	自転車置場の確保、駐車スペース・駐車施設の確保	5.0	0.33	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1	騒音		3.0	0.50	-	-		
2	振動		3.0	0.50	-	-		
3	悪臭		-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	LED照明の採用	4.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

外部負荷を低減するために開口部は必要最低限とした。

外壁の色、配置、夜間の照明・騒音など、近隣への迷惑・公害等が生じないように配慮した。

Q1 室内環境

建築基準法規制対象外となる建築材料を採用し、良好な空気環境に努めた。

Q2 サービス性能

ホールの天井高さを高くし、ホールの仕切壁を減らすことで、開放的でゆとりのある空間とした。

Q3 室外環境（敷地内）

防犯性に配慮した死角のない環境作りに努めた。

LR1 エネルギー

エネルギー効率の良いLEDなどの機器を採用し、エネルギー使用の効率化を図った。

LR2 資源・マテリアル

躯体と仕上げが容易に分別できるようにした。

LR3 敷地外環境

緑地を道路周りに配置した。

その他

注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)ガイア熊本店

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	77
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)				スコア	重み 係数	
① 温室効果ガス排出量削減の推進						
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.15	85	0.40	34.00
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.00			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.00			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現						
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	4.0	0.25	67.5	0.20	13.50
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全						
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.29	75	0.20	15.00
LR2-1.1	節水	3.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現						
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30	73.5	0.20	14.70
Q2-3	対応性・更新性	3.8	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数